

# 米原市議会12月議会の日程決まる



## 米原市民報

日本共産党米原市議団  
清水隆徳Tel52-1969  
藤田正雄Tel55-1128  
太田幸代Tel54-2286

http://www.jcp-maibarashigidan.com

# 原発避難者支援の請願を共同で提出

11月22日の議会運営委員会で12月議会の議事日程が審議されました。執行部からの提出議案は補正予算・給与条例等29件の議案です。その他議案は「原発事故避難者の住宅支援の継続を求める滋賀の会」の山中さんから「原発事故による避難者用無償住宅支援の継続を求める意見書の提出を求める請願」が、政策研究会マイバラの中川雅史議員と日本共産党米原市議団の藤田正雄議員の両名が紹介議員となり提出されました。今だ、福島原発事故は終結しておらず、高い放射線量から逃れている住民の心情を無視する国の動きは、近くに多くの原発かかえる、米原市にとっても他人事ではありません。

## 9月議会日程

- 11月29日 発言締切・議運
- 12月1日 開会
- 6日 一般質問
- 7日 一般質問
- 12日 産建常任委員会
- 13日 総教常任委員会
- 14日 健福常任委員会
- 19日 議会運営委員会
- 20日 最終日

## 原発避難者住宅支援継続の請願

米原市議会議長様  
請願者  
原発事故避難者の住宅支援継続を求める滋賀の会

山中 悟(村居田在住)

紹介議員 中川雅史  
紹介議員 藤田正雄

原発事故による避難者用無償住宅支援の継続を求める意見書の提出を求める請願

(請願趣旨)

福島原発事故から5年8ヶ月が経ちましたが、収束の見通しは全く立っていません。放射能汚染などのため、全国で14万1000人(復興庁9月30日発表)の住民が避難を余儀なくされています。滋賀県防災危機管理局によると、9月23日現在、滋賀県には全体で212人、福島県から155人の方が避難しておられます。

これまで、避難指示がなされた「区域外避難者」への支援は、無償住宅支援がほとんど唯一のものでした。しかし、政府と福島県は住民の帰還する意思や条件に関わらず、この支援を2017年3月に打ち切ろうとしています。さらに昨年6月、政府は「居住制限区域」「避難指し解除準備区域」を遅くとも2017年3月までに解除することを決め、今年6月より葛尾村、川内村、南相馬市の年間50ミリベクレル未満の地域を解除しました。日本の法律が公衆の通常の年間線量限度を1ミリベクレルに定めているにもかかわらず解除されました。解除されても帰還できない人たちは、「区域外避難者」になり無償住宅支援は打ち切られます。仮に、無償住宅支援が打ち切られれば、今でも経済的に苦しい状態に置かれている避難者、特に母子避難者世帯は避難の継続が困難になります。福島県では小児甲状腺がん患者が174人も発見されており、子どもをこれ以上被ばくさせたくないと親が願うのは当然です。

事故を起こしたのは避難者ではありません。事故の犠牲者である避難者に「被災者である貧困」を迫るような事態は避けなければなりません。放射性セシウム137の半減期は30年と長く、

### 国同盟中国台湾の旅報告会のご案内

米原革新懇(平和・民主・革新の日本をめざす米原の会)では、国同盟(治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟)主催の中国東北部と台湾の平和・連帯の現地訪問された2人の方の報告会を開催します。貴重な話ですので、多くの方の参加を望んでいます。参加料は無料。

日時 12月4日(日)  
14:00~16:00  
場所 米原市立山東公民館  
2階研修室  
報告者 宮川一男氏  
(台湾の報告)  
堀内良孝氏  
(中国東北部の報告)

11月22日の議会運営委員会で12月議会の議事日程が審議されました。執行部からの提出議案は補正予算・給与条例等29件の議案です。その他議案は「原発事故避難者の住宅支援の継続を求める滋賀の会」の山中さんから「原発事故による避難者用無償住宅支援の継続を求める意見書の提出を求める請願」が、政策研究会マイバラの中川雅史議員と日本共産党米原市議団の藤田正雄議員の両名が紹介議員となり提出されました。今だ、福島原発事故は終結しておらず、高い放射線量から逃れている住民の心情を無視する国の動きは、近くに多くの原発かかえる、米原市にとっても他人事ではありません。

### 雑感

議会の活性化について議論がすすんでいます。議会基本条例が施行されて本年11月1日で3年目となりました。議会の運営を巡っては、いろいろな動きがありますが、基本は市民に分かりやすく、説明責任を果たせる議会活動が基本となります。議長選挙がありましたが、議員一人ひとりがどのような基準で議長を選ばれたのか、市民に対する説明責任は？